

令和6年度 第1回症例検討会開催しました！

症例検討会とは？

つくばみらい市内外の在宅医療介護連携に携わる関係機関が参加し顔の見える関係づくりを目的とした会です。みらい平クリニック小松崎医師がアドバイザーとなり平成27年から年4回開催しています。

在宅医療介護連携について症例検討やグループディスカッションを実施して交流を図ります。

令和6年度第1回目 5月28日（火）

つくばみらいくどう歯科工藤先生に高齢者の摂食嚥下障害についてお話いただいた後、「高齢者の食べる」を支援するをテーマにグループに分かれて意見交換をしました。



工藤先生からどんな職種でもできることが一つあると教わりました。

「口の中をみること」

口の中を見ることで、高齢者の現状が読み取れます。普段から口の中の様子を聞き取ったり、口の中を観察するように心がけて必要時歯科受診につなげられるようにしましょう！

参加した方の声



-  他職種の意見を聞いて、自分たちも連携を深めていこうと思った。
-  実際にお会いして顔見知りになれた。
-  高血圧の薬や骨粗鬆症の薬で口腔内に副作用が現れることがあったと知った。

開催日はあいにくの荒天でしたが32名の方にご参加いただきました。たくさんの職種の方々が集まって、時間内でお話が終わりきらないほど盛り上がっていました。

これからも多職種で話し合い、検討する場を提供いたします。ご多忙とは存じますが、多くのご参加お待ちしております。

次回開催予定日 8月27日（火）19時～伊奈庁舎2階会議室